

# High♥Line Wakabayashi はいらいん若林

みんなでここさ

入らいん!

## 若林区まちづくり協議会会報

2022.3.1

Vol. 25



- 1 堤防  
推定樹齢200年以上の榎(仙台市保存樹木)
- 2 旅立稲荷神社例祭(4月29日)
- 3 耳の病気に効くという「耳開け地蔵」
- 4 「御休場」記念碑(若林市民センター)
- 5 「ゼライス発祥の地」の碑
- 6 飢饉の犠牲者を悼む「松原地藏尊」
- 7 住民パワーで造られた「松原公会堂」
- 8 中河原緑地から見る千代大橋

原野から耕作地へ、そして、準工業地域、住宅地へと変貌を続ける若林地区。スポーツや散策を楽しむ河川敷公園も整備され、生活の中に広瀬川下流の豊かさを感じられるところです。

### 会報の愛称 「はいらいん若林」とは

仙台弁の「入らいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路などの意)とをかきあわせた造語です。温かさとより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

### 若林区探訪 その11

地域の歴史を探り、そこで暮らす人々の今を知る若林区探訪。今回は、井土浜街道(県道54号井土長町線)を挟んで発展した若林地区を歩きました。

## 広瀬川に沿って広がる穏やかな街

## 若林一七丁目

広瀬橋のたもとから東北線のガードをくぐり、ここから東側に広がる地域が「若林(一七丁目)」です。政宗公が江戸への初参勤の際、安全祈願をしたと伝わる「旅立稲荷神社」から広瀬川を臨むと、今では散歩やジョギング等の人々が行き交うのどかな風景が広がりますが、ここには飢饉や広瀬川の氾濫に苦しめられた歴史もあります。

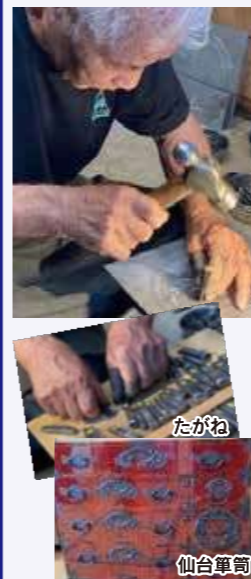
真つ赤な滝掛けの「松原地藏尊」は、宝暦明和の大飢饉で飢えや疫病に苦しんで亡くなった人々の霊を慰めるためにつくられ、今でも大事に祀られています。この地域は昭和十六年に宮城郡七郷村から仙台市に編入されました。若林一七丁目となる前の「広瀬川橋下」「桃源院東」「五ツ谷」「行人塚」「御休場」は、通称「松原」と言われ、昔

市場に出す野菜を洗う「ネギ洗いの瀬」と呼ばれるところもあり、広瀬川との共生が感じられます。昭和中期には数社の食品工場や製材所等が立ち並び、準工業地域としての活気がありました。現在は、複数の工場が移転し、その跡地には商業施設ができ、東日本大震災の復興公営住宅も建設されました。また、一角には「ゼライス発祥の地」の碑が、世界で初めて鯨を原料としたゼラチンが開発され、みんなに愛されているゼリーの素がここで作られていたのです。

## 地域の問題

### 若林区の職人さん

◆八重樫仙台タンス金具工房：八重樫 榮吉さん◆



「楽しいからやってんの～」と笑顔で語る八重樫さん。「若い頃は家業が嫌だったけど、結局金具づくりが好きだったんだね。」…1日2万回以上も鉄板を打ち、いつのまにか指紋がなくなってしまったというお話に、職人魂を感じます。

仙台箆箭は、凛とした風格のある箆箭で、豪華な飾り金具が特徴です。その金具を手打ちで作っている四代目の榮吉さんは、平成2年に「八重樫仙台タンス金具工房」をおこして独立。工房では約1300本の鑿からその用途や図柄に合うものを瞬時に選び、力強く打ち続けます。膨らみがある部分は、裏から打ち出します。仕事の半分は道具作りと言えるようで、工房にはたくさんの工具と鑿が整然と並んでいました。家紋や縁起物の龍、牡丹、唐獅子のほか、注文に合わせて新しい図案にも応じます。「どんな注文でも一所懸命やるだけ、職人だからね。」と。

箆箭一棹には200~300個もの金具が必要ですが、八重樫さんはその全ての金具を作っています。緻密で美しく、生き生きとした作風は、八重樫さんの一途な探求心や遊び心を持ち合わせた、豊かな人間性にあるものと感じました。

平成29年春には、多年にわたる金具製造工としての功績が認められ、黄綬褒章を授与されています。工房を訪れ、職人としての真摯な姿勢と卓越した技に触れ、改めて手打ち金具のすばらしさを実感しました。

### 令和4年度 若林区まちづくり協議会の行事予定

4・5月 役員会・総会	7月 若林区 合唱のつどい (第1土曜日)
8~11月 若林区 スポ・レク・ フェスタ	10月 若林区民 ふるさとまつり (第3日曜日)
2月 若林区 まちづくり 交流会	3月 会報 「はいらいん若林 (vol.26)」発行
7~翌3月 76.2MHz ラジオ3にて 第1~4土曜日の午前10時から 「ラチオはいらいん若林」放送 ※インターネットで放送を聴くこともできます (リスラジまたはラジオ3ホームページ) ※詳しくは「市政だより」「若林区ホームページ」 等でご案内いたします。	

### 若林区の子育てネットワーク 4月から始動!

## 子育てサポネットわか隊 ~みんなでつくろう!つながろう!



若林区に念願の「のびすく」(仙台市子育てふれあいプラザ)がオープンしたのは、平成29年10月。それまでは、長い間、区役所の家庭健康課を事務局とし、子育て支援の諸団体や施設、個人ボランティア等で組織された「輪っ! かばやし子育て応援団」が、区内の子育て支援の一翼を担っていました。

昨今、若林区は、東日本大震災からの復興や再開業、地下鉄東西線の開通などで、生活環境が大きく変化しています。と同時に、子育ての環境にも大きな変化があり、コロナ下でもあることから、従来とは違った、新しい形での支援方法が求められ、昨年6月に、子育て支援施設である「のびすく若林」が中心となって、「子育てネットワーク準備委員会」を結成しました。安心して子育てができる若林に!の思いで討議を重ね、いよいよ4月にスタートします。若林区内の子育て中の親と子どもを取り巻く環境の充実と、情報の共有や課題の解決を図るために、様々な立場の人たちが手をつなぎ、知恵を出し合って新しい形の支援の方法を模索し、地域と関わりながら活動していきます。みなさんは是非ご参加ください!

連絡先: 仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく若林」  
若林区中央市民センター別棟2階 TEL022-282-1516

若林区まちづくり協議会  
事務局  
若林区役所まちづくり推進課内  
〒984-8601 若林区保春院前丁3-1  
TEL 282-1111

会報プロジェクト  
メンバー  
リーダー 清水 公七  
勝 又久雄  
西 條 芳郎  
志子 田喜恵子  
菅 原 まゆみ  
米 倉 正 子

編集後記  
新型コロナウイルス感染症に翻弄されて、約2年が経ちました。若林区まちづくり協議会では、コロナ禍の中でも感染対策をしながら活動を続けてきました。特に、新しい試みの「若林区民オンラインまつり」では、いろいろな参加の仕方があること、様々な形で共有できることに気づかされました。新生活様式への変化の中で地域活動を広げるためには、より強い連携と協働が求められている気がします。(会報プロジェクトリーダー 清水 記)

## 若林わくドキ!!まち歩き「七つの村の物語」

このイベントは、若林区まちづくり協議会の主催で、毎年数回行われていきます。今年度2回目となる今回は、史跡・旧跡を巡り、七郷地区の中世の歴史を学びます。11月20日(土) 午前9時30分に地下鉄東西線六丁の目駅に、参加者10名・スタッフ10名が集合し、まち歩きはスタートしました。当日は、天気も良く風も穏やかで、まち歩き日和でした。新型コロナの影響もあり、人数を絞って開催されたため、参加者は多くの応募者から抽選で選ばれた幸運な方々でした。メインガイドは地元の大泉さんに担当していただき、サブガイドにも地元の二人に同行していただきました。

六丁の目周辺は区画整理などの土地開発が近年行われた場所で、昔と様変わりした地域です。現存している遺跡は少なかったのですが、解説していただいたことで、過去をイメージしながらの旧跡巡りができました。



## ラヂオはいらいん若林

若林区には魅力的な人、物、お店、産業などがあふれています。それらを区民スタッフが自らの視点で拾い上げ、丁寧に取材して、ラジオ番組としてお送りしています。

スタートは2008年。今年で14年目を迎える長寿番組なのです。今年度も18本の番組を作り、36回の放送をしました。ご愛聴いただいている方はこれからも、そして、聴いたことがなかったという方は是非一度チャンネルを合わせてみてください。きっと自分の住んでいるこのまちをもっと好きになり、今まで以上に誇りを持つことができるようになるはず。 Don't miss it!



## スポ・レク・フェスタ実行委員会

スポ・レク・フェスタ実行委員会は、若林区民ふるさとまつり実行委員会の一つの班として活動しています。区民ふるさとまつりでは、リサイクルステーションを担当し、ごみの分別・減量化・減容化に努めています。年々少しずつですが、分別の意識が高まっているように感じています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年は区民ふるさとまつりが中止になり、スポ・レク・フェスタも中止になりました。令和3年は区民ふるさとまつりがオンライン開催となり、「スポ・レク・フェスタ2021」も開催することができました。しかしながら、コロナ禍のため13種目のうち6種目が中止になりました。令和4年は1種目でも多くの大会が開催されることを願っています。

スポ・レク・フェスタ班 班長 堀江新一郎



# コロナにも負けず

# 元気を発信!

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)により、様々な制約を受けて2年...  
若林区のまちづくり活動も中止や変更、縮小を強いられました。  
しかし、そんな中でも対策と工夫を凝らして行われた活動やイベントをご紹介します。

## 2021 若林区民 オンラインまつり

昨年は、残念ながら感染症対策の一環として中止となったため、今年度は例年以上に盛大な「若林区民ふるさとまつり」を開催しようと、実行委員一同気持ちを一つに取り組みしてきましたが、新型コロナの猛威の前にやむなく中止。このまま2年続けて何もせずに終わるのかと、焦りにも似た諦め感の中、実行委員会では、現状で工夫しながら何ができるかと議論をし、「オンライン」での情報発信に取り組みました。見るもの聞くものが初めての言葉や経験で、実行委員会の想いは一つにできても、実際には共有することがなかなかできず、

常に試行錯誤の連続でした。しかし、少しずつ形になり、ようやく「2021若林区民オンラインまつり」を皆さんにお届けすることができました。多数の関係団体から動画や店舗のPR等をご提供頂き、区民の皆さんに新しい情報発信ができたと思います。また、感染症対策を万全にしての「パブリックビューイング」、「幼稚園・保育園の作品展」を開催。区内のお店や施設を巡る「スタンプラリー」をおよそ1ヶ月間実施するなど、初めての取り組みで、区民の皆さんに届いているのか、楽しんでいただけたのかと不安でしたが、各イベントを無事開催でき、実行委員一同安堵しております。

最後になりましたが、実行委員を代表して、各関係団体、各店舗及び施設の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

若林区民ふるさとまつり実行委員長 佐藤康浩

オンラインステージ 8団体参加

若林区の皆さんのダンスや合唱  
多彩なパフォーマンス動画を公開!

スペシャルコンテンツ 8団体参加

オンラインおまつり広場 17団体参加

「私たち、若林区でこんな活動をしています！」  
区内の団体の活動を動画で紹介!

オンラインお店PR 13店舗参加

オンラインまつりにちなんだセール情報や特別メニューを提供中のお店を紹介!



アクセス数  
約4,500件!

## 若林区まちづくり協議会 まちづくり活動表彰

2021年度から  
新たに創設された賞です。  
今年度受賞された方々を  
ご紹介します。

### おきとう かい 沖父ちゃん会 (六郷地区)



沖野東小学校に通う児童の父親で構成され、学校のみならず、町内会や体育振興会主催の各種イベントにも設営などで大いに貢献されました。また、学区内の各種施設とも連携し、中でも、高齢者施設内での駄菓子屋の運営は、お年寄りと子どものコミュニティづくりに役立っています。

### たんの ただし 丹野 忠さん (七郷地区)



長年にわたって、いずみ町内会内外のバス停付近及び通学路の清掃を自主的に行い、地域のために大いに貢献されました。その他にも、交通安全・防災・防犯への積極的な取り組みや福祉施設を訪問して調理支援を行うなど、幅広い奉仕活動で地域のために尽力されています。

### まむら くんべい 木村 軍平さん (南材地区)



広瀬川河川敷の花壇3ヶ所の維持・整備に自ら積極的に取り組み、散策する人たちの目を楽しませてきました。また、児童館の花壇の整備や敷地内の雑草取りも自主的に行うなど、長年にわたって地域の環境美化に大いに尽力されています。

### まつき たつお 松木 達雄さん (七郷地区)



長年にわたって地区の歴史の研究を続けられ、変貌著しい七郷の今昔を伝える第一人者として、地域に大いに貢献されました。七郷語り継ぎボランティアのみならず、東日本大震災の伝承にも携わり、老壮大学では、郷土史の講座を通して高齢者の生きがいづくりにも寄与しています。